

発行所
群馬県館林市尾曳町6-1
群馬県立館林女子高等学校
同窓会
印刷所
株式会社
東京広告株



白寿を迎えた母校

同窓会長 仁田 征子

同窓会の皆様には、お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会は新体制となり二年目となりました。昨年同様会員の皆様のお力をお借りしまして、先輩方が築かれた伝統を発展継承できますよう、力を尽くしてまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

さて、今年館林女子高等学校は、創立九十九年目にあたります。日本では九十九歳の誕生日を迎えますと、白寿としてお祝いをする習慣があります。おかげさまで館林女子高等学校も、誠にめでたい年を迎えることとなりました。

母校は大正六年四月に、館林邑楽地域の女子教育の充実を図るため館林町立実科高等女学校として、現在の館林市立第一小学校内の地に産声を上げました。その後、県立へ移管し、群馬県立館林高等学校となり、現在の尾曳町に移転してきました。移転前にこの地で太田中学校邑楽分校、館林農業学校（現在の大泉高等学校）、館林中学校（現在の館林高校）の生徒たちが学んでおりました。母校は館林邑楽地区の中等教育発祥の地で新たな歴史を築き上げていったのです。そして、昭和二十三年の学制改革に伴い、現在の校名に改称されま

した。東毛の女子高校の中では、最も古い歴史を持ち、地域の女子教育の中心としての役目を担うとともに、これまで二万七千名を超える卒業生を送り出してきました。いよいよ来年は創立百周年を迎えます。記念事業の準備も着々と進んでおります。先日は桜咲き誇る学校の様子と城沼の水面を滑るボート部の活動を撮影しました。この映像は百周年記念式典のときに、皆様に御覧になっていただけです。百年史も資料が集まりつつあるところです。戦前の卒業アルバムなど旧職員や同窓生関係者の方々から貴重な写真をお借りすることができました。しかし、まだまだ不足しております。皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、創立百周年記念同窓



会会員名簿も発行することになりました。個人情報保護ということが言われていますが、館林女子高校の組織を堅固なものとし、会員同志の「絆」をより深めるためにも、同窓会名簿は必要不可欠なものと考えます。七月頃から、会員の皆様には調査カードが届くと思います。ぜひご協力して頂けたら幸いです。同じ学び舎で共に笑い泣いた日々、同窓生同志、また同窓生と恩師の「絆」をつなげていきたいと思います。

同窓会の会合で母校を訪れると生徒たちから気持ちのよい挨拶を受けます。制服も昔と変わらず、高校時代のことを懐かしく思い出することがたびたびあります。同窓生の皆様も、母校に足をお運びになつてはいかがでしょうか。今年度も同窓会は、六月に総会、秋に観劇会を行います。皆様が多数ご参加くださいますこと、心より願います。総会で同窓生の皆様と一緒に校歌を楽しみたいと思っております。



創立百周年に向けて

校長 金子 弘幸

四月十五日、本校創立九十九周年記念式典を滞りなく終了することができました。熊本の大地震のことを考えますと、式典がつつがなく行えることは、本当にありがたいことだと思います。

今回、私は式辞の中で、本校第六代校長の加畑徳治郎先生の言葉を引用しました。本校六十年史の中に記載された「女らしさ」に関する記述を目にしたとき、女子教育の原点を見失ってはいけない、との思いに駆られたからです。また、広岡浅子氏が創立に尽力した日本女子大学の、女子を「人として」「婦

人(女性)として「国民として」教育すること。(この順番を間違えてはいけない。)という建学の精神は、日本の女子教育の出発点であり、変わるのではない女子教育の基本理念と思いました。この二つは、日本の女子教育の精神的な伝統として、決して失ってはならないものと考えています。

今回の式典では、女優の渡邊幸希さんに、一人芝居の「舞台」と「講演」の両方をお願いしました。やるからには恥ずかしいものは見せたくない、という渡邊さんの気概を感じる言葉どおり、素晴らしい舞台を見せてくださいました。スタッフも三人お連れして、入念なりハーサルをされての本番となりました。在校生にとりましては、本校卒業生の妙技を生で見られたのは、貴重な経験だったと思います。その後のご講演の中では、決して妥協しない芸への取り組み姿勢、人生をかけ、命をかけて女優という職業に取り組まれてる姿に感銘を受けました。

ある意味では、人生そのもの

の大きな舞台のようなものであり、役者が様々な役柄を演じてゆくことで役者として上達するように、人は人生の役柄を通して人として向上してゆくようにも思えます。そのような視点から見ますと、授業を行う教師は、一人芝居的な要素があると私は思っていました。教科書という台本をどう演出するか…主演である教師が監督でもあり、授業を展開してゆきます。昔は先生が一人芝居をして、生徒は観客のような授業もあつたと思います。今、進められていくアクティブラーニングの観点からしますと、授業という舞台の中で、教師だけでなく、生徒も主役という考え方で授業が展開してゆきます。そのような意味からしても、教師の仕事は大変奥深いものであると感じざるを得ません。

さて、本校では、来年の百周年の準備を着々と進めているところ。記念式典では、アナウンサー、大学教授と長年に渡り幅広く活躍されておられます見城美枝子氏の講演と、人間国宝の琴の演奏

者、野坂操壽先生と沢井一恵

先生の実演とが予定されています。

格式高く、華やかな式典になると確信しております。

記念史も本校国語科の山口先生が、入念な情報収集の

もとに、記念誌編集のスペシ

ヤリストとしての実力を存分に

発揮して、日々編集に取り

組んでいます。もう一つ欠かせ

ないのは記念品ですが、オ

ルゴール付きのアクセサリー

ボックスに決まりました。本

校芸術科、島田聡先生の監修

により、オルゴールは本校校

歌の一節『希望にもえつほ、

多みつ つねに未来に生くる

なり』のメロディを入れたオ

リジナル品に仕上がる予定です。

さらに、百周年記念祝

賀会前に放映予定の、本校プ

ロモーションDVDの作成も

進めています。四月三日にド

ローンによる空撮で、桜が満

開の本校校舎全景を撮影し、

同日、城沼を滑るように進む

ボート部の様子も空撮しまし

た。また、四月二十三日には、

強歩大会で雄大な渡良瀬遊水

池周辺を歩く館女生の姿を空

撮にて動画に収めました。本

校を象徴するこれらの映像を

編集して、創立百周年記念DVDを作成する予定です。

可憐な女子校の百年に一度

の華を咲かせるべく、創立百

周年記念式典に向けまして、

.....

.....

.....

.....

.....

.....



いあこさし

事務長 田口 薫

平成二十七年末の人事異動により事務長として着任いたしました。

館林女子高校

は自分の母校であり、平成

二十一年度から三年間は事務

職員としても勤務しておりま

したので、本校との縁の深さ

を改めて感じております。通

い慣れた道を走り、見慣れた

角を右に折れて咲き始めた桜

の花の奥に正門が見えてきた

時、ここに帰ってきたのだと

いう実感がわいてくるのと同

時に、言いようのない不安も

感じました。しかし、職員や

生徒の皆さんと元気な声で挨拶

を交わし、新任式で久しぶ

りに母校の校歌を耳にする

と、初日の緊張感も自然に和

らいでいきました。

現在本校では創立百周年に

向け、記念誌の編纂や名簿の

発行など記念事業の準備が

着々と進んでいます。この度

の異動によって伝統ある母校

の大きな節目に立ち合えるこ

と、その準備に携われること

を光栄に思います。

同窓会の皆様には大変お世

話になります。今後とも、

ご指導ご鞭撻のほどよろしく

お願いいたします。



創立九十九周年

開校記念式典 記念講演会

四月十五日(金)

一人芝居「妹の着物」 川端康成短編集「掌の小説」より
講演「挫折とチャンス」

講師 渡邊

宰希(本名・佳津子)
(劇団グスタフ女優)



〈講師プロフィール〉
平成4年3月 館林女子高校卒業

特技
ダンス(ジャズ・モダン・ヒップホップ)、
着付け、乗馬、殺陣

趣味
美術館・骨董屋巡り、映画鑑賞

経歴
2011年川端康成「妹の着物」&size(12)
(掌の小説より)を一人芝居で上演。好評
を得ず。
2013年ドキュメンタリー映画「初代県令
楢取素彦物語 生涯の至誠」楢取寿子役
にて出演。2014年、同作品がヒュースト
ン国際映画祭ドキュメンタリー歴史部門
で最優秀賞作品賞を受賞。2015年国の重
要有形文化財・矢来能楽堂にて初の、能
楽、演劇、殺陣、現代音楽の融合劇「夢
幻能劇 野望の時」を上演。織田信長正
室 濃姫役を好演。

本年度の開校記念式典は、渡邊宰希氏による一人芝居「妹の着物」と、講演「挫折とチャンス」であった。氏は芝居を行うに当たり、入念にリハーサルを行い、後輩に最高の舞台を見せようと全力を尽くした。生徒たちはその芝居を真剣に観劇し、衝撃的な結末に驚いていた。講演は、ダンサーを目指していたが腰痛のためそれを断念し舞台女優になった経緯や、経験の話であった。「自分を信じて、あきらめないでほしい」と生徒に熱いメッセージを送ってくださった。

渡邊宰希一人芝居

『妹の着物』 原作・川端康成

私は体育館の一番後ろ、卓球台のある二階正面からこの舞台を鑑賞した。スポットライトに浮かぶ女は二十五年前にタイムスリップした渡邊佳津子であった。当時の彼女はいつも躍っていた。小さい顔と長い手足で舞台狭しと踊りながら演じていた。フワフワと動き回ると台詞が漫画の吹き出しのように動いてしまい言葉の力が弱まる。次第に台詞は減らされ、高校時代最後の戯曲では一言も台詞のない主役を演じた。一人芝居上演後の「挫折とチャンス」講演内容を聞き、今更ながら当時の彼女の心境を知った。そうか、彼女は踊りたかったからなのか。

存分に發揮した舞台をつくれ。』

部員で作るオリジナル戯曲。演劇は総合芸術であり奥が深い。文芸はもちろん、演出、音響、照明、衣装、舞台セット、等々。部員が手分けをし、興味のある分野の知識を深めそれらを持ち寄り一つの舞台を作り上げる。壮大で真剣な遊び。面白い。今は部活に専念しよう。高三になると部活からは離れ進学準備モード。自分の夢はブロードウェイ。放課後は様々なダンス教室に通う。ダンスに専念できる喜びと、卒業まで時間がない焦り、体が思うように動かない憤り。無理を強いるレッスンにより体が悲鳴を上げた。致命的な故障、完治する見込みのない腰痛発症。夢は諦めざるを得ない。まだ卒業前。本人曰く『お先真つ暗』。

『舞台女優になる』

一歩踏み出す勇氣

したい。自分に目覚める。私、大丈夫？



講師を囲んで
福田美恵子さん 金子校長 渡邊宰希さん 武藤智美さん(寄稿者)

体育館の照明が落ち暗幕を張った館内は闇に包まれた。その緊張感に耐えかね在校生ら約八百人はざわめく。幕上がる。――明転――
『行つてらっしゃい』

と共になにに皆を異世界へと飛ばし強引に連れて行く。しかしその導きかたは心地よく、役者にこれからの時間・身・もちろん心を任せてしまふ。舞台役者はタイミンクを作ることが大切だ。固唾をのむ音。そう、観客の呼吸を合わせ、これからの舞台、時間の支配者となり一気に自分の世界へとともてなす。

み、地元館女へ入学。もちろんダンス部へと考えていたが、部活紹介の演劇パフォーマンスに衝撃をうけ演劇部へ。当時の顧問、金子明雄先生の理念「高校生は大人でもなく子供でもない。大人が考える概念を超えた能力を秘めている。特に感受性の強さは個性であり立派な武器になる。臆することはない。

そこから数年間はよく覚えていないと言う。自分の意志とは反した、というよりも何もなく空っぽの状態、されるが儘に進学・就職。ただ生活し、生きていた。しかし急に訪れた大切な人の死をきっかけに自分の人生を見つめ直す。「ありがとう」と皆に感謝し、面白い人生だったと笑いながら幕を下ろす。

舞台に立つ夢を諦めきれない。その思いを言葉にし、上京した。その他大勢の一人ではない現実。悔しくて仕方が無い。言葉が自分を成長させた。いつの間にか同期の劇団員は皆辞め、看板女優になり、劇団団長になり、言葉が育ち動き出す。数年前の同窓会総会時に語った『いつか故郷館林で公演したい』その場にいた先輩の心に届き育ち今回の公演へとつながった。言葉は人と人をつなげてくれる。そのつながりがこそがチャンス。感謝の念『ありがとう』思うだけでなく言葉にす

る事が大切。部活顧問金子明雄先生、東京同窓会川島佳子さん、金子弘幸校長先生、私につながる方々、ありがとうございます。

『館林に演劇の拠点を創りたい。館林を文化の発信基地にしたい』この言葉が在校生の心に届き、このプロジェクトの同志が生まれ、ここからつながることと期待する。

(一人芝居)

『取り戻したんです。』

―静かに去る― おわり

幕は下りたがこれで終わりではない。再出発幕開けだ。原点復帰、母校で自身と自信を取り戻す。私大丈夫！覚悟はもうできている。その顔は清らかだ。

武藤 智美 (平3年度卒)
(渡邊幸希同期 同演劇部員)

渡邊先生の

一人芝居をみて

二年 築比地 令華

一人劇をみたことがなかった私は、どんなことをして世界観を表現するのかとても気になっていました。

幕が上がった瞬間に私は前のめりになるほど引きつけられました。照明の使い方や昔

の人の独特なしゃべり方のよきな表現の仕方にとくさんの驚きがありました。それはキャストとスタッフがいてなりたつことなので、仲間の大切さを改めて感じました。

先生とお話をさせていただき、より自分が演劇の道に進んでどのように積み重ねていくのかイメージができ、夢が明確になりました。一番印象に残ったことは、経験です。演劇をするにはその人になり

きる必要があります。昔の人だったら服が現代とは違い、着方も違います。例えば着物をどのように着るのか、どんな動きをするのか、当たり前

にできていたことを私の当たり前前にする必要があるということ。視点を変えて、演技の勉強だけではなく、その人の周りから勉強していこうと思えました。

先生の演劇をみて、話を聞いて、自分の夢に向かってたくさんのことを調べるようになり、興味を持つようになりました。一歩前進できたと思います。ありがとうございます。

平成27年度 総会・ティーパーティーに参加して

―今回はお二人の同窓生より原稿を寄せて頂きました。ご紹介します―



荒井 幸世 (昭50年度卒)

梅雨時とはいえ、晴れの日が続いた六月六日午後一時三十分より、同窓会員九十余名、金子校長先生はじめ担当の先生各位により、文化会館(明日香の間)にて総会が盛大に開催されました。

第一部総会では、仁田征子会長の同窓会を盛りたてて頂きたいという思いのこもったご挨拶があり、金子校長先生には、四月再赴任にあたり懐かしい職員の方との再会をまじえてのご挨拶を頂きました。

総会後は、第二部ティーパーティーで在校生箏曲部による、「さくらさくら」、「ハナミズキ」、「地上の星」、「ラデン」と続き、「こもれび」は同窓生による演奏で、ゆつたりと時が流れていくようでした。

私事となりますが、平成

二十六年三月に長女が卒業するまでの二年間、PTA本部役員を経験させて頂いたご縁もあって、昨年の歌舞伎座観劇会にもお誘い頂き、この度初めて総会・ティーパーティーに参加させて頂いたと思います。

今年七月には、四十年ぶりのクラス会が開かれるという便りが届き、大変懐かしく、楽しみにしている今日この頃です。

最後に、群馬県立館林女子高等学校の益々のご発展と、同窓会会員様のご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。



櫻井 永子 (昭60年度卒)

卒業して三十年の月日は経ちますが、館女の脇の道を通ることも多く、制服姿の在校生を見ると懐かしく思います。

この度は、子供を通して知り合ったお母様のお誘いで参

加させて頂きました。お誘い頂いた時は、とても仰々しくお断りしようかと思っておりましたが、三年後の創立百周年の話を聞いて総会に出席させて頂こうと思えました。

当日、受付での対応から和やかな雰囲気の中、少しドキドキしながら着席してました。

第一部総会が始まり、仁田征子会長のご挨拶の中で創立百周年に向けての同窓会活動のお話を頂き、長き伝統のある素晴らしい母校であること

を改めて実感致しました。

第二部では箏曲部による素晴らしい演奏と同窓生の演奏に驚嘆致しました。お食事をしながら楽しいひとときを過ごさせて頂きました。来年は、同窓会活動を知らない卒業生の人にお声をかけさせて頂き、たくさんの方々とお話ができますよう楽しみにしています。

最後になりましたが、同窓会役員の皆様、開催にあたりご尽力下さいましたこと心より感謝申し上げます。そして卒業生皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈り致します。



観劇会に参加して

—平成二十七年十月十七日

新橋演舞場—

橋本 夏生 (昭48年度卒)

館女を卒業してからは、テニス部のOG会で先生やコーチを交え何度か楽しみな集まりがありました。近年は館女とも縁が薄くなっておりました。

今回初めての同窓会観劇となり、お世話をして下さるのがテニス部OG会と同じく島田さんとお聞きし嬉しくなりました。参加を決めてから、思いがけない先輩や後輩に会えるかしら、バスの中では楽しいお話が出来るかしらと、なんとなく心が浮き浮きして

いました。当日は朝からあいにくの雨で、足もとを気にしながらの出発でしたが、バスは皆さんの楽しいおしゃべりと共に順調に高速を走り、早めの新橋演舞場到着となりました。

たっぷり時間のあった仲間たちは、近くにあったコーヒショップに入りそれぞれに歓談していたようです。私たちも初対面の方も交え、

コーヒを戴きながら女子校時代の校舎や制服のお話、特に懐かしい先生方のお話などに花を咲かせました。その後、劇場は大勢の人たちで賑わい、お弁当を受けとる人や連れを待つ人、お弁当の引き換え券がないと心配そうに聞いてくる人と、これだけの大所帯を取りまとめるのは大変な仕事と頭が下がる思いでした。

さて本題の歌舞伎ですが、まるで素人の私にとり、今回のスーパー歌舞伎「ワンピース」がどんなものか想像もつきませんでした。幕が上がってみると、それまでの私の歌舞伎のイメージがガラガラと崩れ、現代演劇を観せられているようでした。

原作がコミックマンガの「ワンピース」という海賊のお話で、海賊王をめざす主人公ルフィ(市川猿之助)とその仲間「麦わらの一味」の「ひとつなぎの大秘宝」を巡る海

洋冒険ロマンなのです。子供たちが観ても楽しめるような内容で、実際に供連れのお客さまもいらつしやいました。まず感心したのは、役者とはどんな役でも演じきるものだということでした。それまでの和から洋での衣装、立ち居振る舞い。特に市川猿之助演じる主人公ルフィのちよつとコミカルな演技(しくさ)と晴れやかな笑顔は、私の胸に残るものとなりました。またアップテンポの曲によるダンス等、笑いを交え、手拍子を交え、舞台と客席とが一体となり、歌舞伎を観ているというのを忘れそうなノリでした。さらに圧巻はやはり主人公ルフィの空を飛ぶ壮大なシーン(宙づり)。大きなクジラとともに一階席から二階席へと、その勇姿にお客さますべての視線をうけ、歌舞伎の花道とはまた違う大きな盛り上がりでした。

もう一つの圧巻は、舞台上で大量の水が流れ落ちる中で格闘シーン。前列のお客さまにはかなりの水しぶきがかかったのでは?と思わせるほどでした。圧倒的な迫力に惜

しめない拍手が続き、演じる者から観る者へと感動の渦がわき上がり、その一体感が舞台、客席へと広がっていきました。幕がおり舞台を後にするお客さまの顔が、満足と充実感で輝いて見えたのは私だけではなかったでしょう。その感動さめやらぬまま私たちは帰りのバスに乗り込

み、新橋演舞場を後にしました。今回このように素晴らしい観劇会を企画運営して下さい。皆様さまにお礼申し上げます。館林女子高等学校の更なる発展と同窓生の益々のご活躍、ご多幸を祈念申し上げます。

観劇会のご案内

劇団四季

『マンマ・ミーア』

ABBAのヒット曲で綴る、とびきりハッピーな
ウェディング・ミュージカル

- 1. 期 日 平成28年10月1日(土)
- 2. 会 場 東京都港区海岸1-10-48 四季劇場「秋」
TEL: 03-5776-6730
- 3. 募集人員 100名(定員になり次第締切りとさせていただきます。)
S席(バス参加者 15,800円、現地集合者 10,800円)
- 4. 募集方法 6月15日ころ、役員・幹事へ通知発送。葉書のみにて申し込み受け付け。
- 5. 問合せ先 館林女子高校 同窓会係 TEL 0276-72-0139

※平成29年度の観劇会は、創立100周年の関係でお休みします。



思い出すままに

旧職員 石井 顕

私が館女に勤務したのは平成元年から十一年までの十年間でした。その間、七年連続で担任をさせてもらいました。勤務校としては二校目で、職務上さまざまなことを経験し、また勉強する機会にも恵まれました。四十前後の柔軟な思考のできる時に、館女に勤務できたのは幸いだったと思います。

さてさらに思い起こせば、平成の始めは全国的に生徒数が多く、競争倍率が高いために、卒業後思いどおりの進路結果に結びつかない時代でもありました。学力向上に種々取り組んでは見たものの、その成果を実感できるまでには多くの年月を必要としました。今では、女性の活躍は当然のように叫ばれ、国を始め自治体でも、それぞれの目標を具体的に設定するようになってきました。当時の館林女子高校は、特に古風な面が残っていたことから、それを改善す

るため、一社会人としてのキャリアを身につけるために、高校時代から明確な目標を持って、学力向上を目指すべきではないかと考えていました。

ホームルームや授業でさえ、将来に向かうための具体的な準備の話を何度もしたことを記憶しています。教育現場は、時代や社会風潮に流されやすいため、生徒自身が自分と正面から素直に向き合わなければ、自分を生かす道を探すことはできないと考えていました。平成になってから、学習指導要領が、時代を考慮して策定してきていることがわかりました。しかしどんなに時代が変わろうとも、本質的なことは知・徳・体しかないと思います。それを身につけるためには、日々なすべきことを着実にこなすこと、つまり、授業や部活動にしっかり取り組むことや温かい人間関係を築くことを努力するなど、時代が変わっても変わるもので

はないと考えていました。このように館女勤務の時の私自身の最大の目標は、卒業後自立した社会人としての基礎を育成することだったと思っております。

ある時から渉外を任され、保護者の皆さんと共に活動させてもらいました。そして多くの話もしました。飲み会もありませんが、学ぶことも多くありました。楽しい時代だったと感謝するのみです。保護者との連携の大切さは、四十キロ強歩など、多くの行事の活性化に繋がっているものと確信しています。部活動では、バスケットボール部やボート部の顧問を任せましたが、力不足で部員には大変迷惑をかけたしまいました。特にボート部では、関東大会や全国大会出場引率のため、宮崎県、静岡県、愛媛県、富山県、埼玉県、茨城県、長野県、東京都などを訪れた記憶があります。部員達は苦しい練習に耐え、好成績を取めたのは立派でした。

最後の二年間は、進路指導の充実のため関係の先生方と議論を重ねました。授業評価

アンケートを全生徒に実施し、課題を探ろうとしたこともありました。館林高校と合同の春季課外を実施したこともありました。ベネッセコーポレーションの新人女性社員に体育館のステージに上がってもらって、何人かの先生方と共にシンポジウムを実施したこともありました。学力向上対策委員会では、模擬試験等の各教科の課題を明確化することも目標にしました。進路意識の確立と目標の早期設定に向けて、さまざまな仕掛けを考え実施した時代でもありました。

館女勤務後、五校の高校を経験しました。定時制や通信制、市立高校にも勤務しました。しかし、担任を経験できたのは館女が最後になりました。教員として最も教員らしい仕事ができたと館女だっただけだと思っております。当時、お世話になった先生方や保護者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。また、当時の生徒達が元気でがんばっていることを期待しています。あつという間に定年を迎え、今六十二才になりました。こ

れからも社会貢献をするための思いや気力はありますが、どんな形で具体的に何をしようかと迷うことが多いこのごろです。

高校時代はすべての基本を身につける時代であると思います。館林女子高校が百周年を迎えるにあたり、お祝い申し上げますと共に、今後多様な教育を実践し、社会に羽ばたこうとする生徒のみならずのために、尽力していただければ幸いです。乱筆乱文にして申し訳ありませんでした。同窓会の皆様、関係者ご一同のご多幸をお祈りいたします。

館女を卒業して

森田 香 (平27年度卒)

私は平成二十八年三月一日に館林女子高校を卒業しました。

振り返ってみると、高校三年間は私にとってあつという間でありながら、様々な経験をし、成長させてくれたものでした。

三年間の中で私が夢中になり、頑張ったことは生徒会で、最初は人前に出ることに

とても緊張しました。そして、どうやったらもっと上手に話せるだろうと考えました。友誼祭では、事前に何度も生徒会で話し合い、先生方や実行委員とヒアリングを重ね、成功させることが出来ました。予餞会では、初めて体育館で行い、右も左も分からないながらも懸命に準備をし、皆で協力をしてやりぬきました。生徒会の皆で協力をし、やりぬいた仕事と、生徒会長としての仕事のどちらもとてもよい経験となりました。

進路の面では、とても辛く苦しく何度も心が折れそうになりました。しかし、その度に周りを見渡すと皆頑張っていました。そのような姿を見て私も励まされ、また頑張ろうと思うことが出来ました。もちろん、後悔していることはたくさんあります。ですが、人生はまだまだこれからなのです。今、そしてこれから出来ることを精一杯頑張りたいです。受験を通して得たことや後悔したことを糧に、これから努力していきます。

現在、調査カードの発送が行われています。ご住所がわからない方も多数いらっしゃいます。どうぞ、ご友人の方にも情報を拡げて頂いて、より良い名簿ができますようお力添え頂ければと思います。

— 創立百周年記念
同窓会会員名簿
発行決まる —

平成 28 年度 **行事予定**

平成28年
4月8日 (金) 入学式
第1回 本部役員会 (総会・開校記念式典について)
14日 (木) 開校記念日
15日 (金) 開校記念式典及び記念講演会
5月17日 (火) 第2回 本部役員会 (総会・観劇会について)
6月初旬 関東・全国大会出場後援
11日 (土) 定期総会・ティーパーティー
会報発行
7月下旬 全国大会出場後援
9月中旬 第3回 本部役員会 (観劇会について・創立百周年について)
10月1日 (土) 観劇会 劇団四季「マンマ・ミーア」

平成29年
1月初旬 第4回 本部役員会 (同窓会入会式・今後の予定について)
2月28日 (火) 同窓会入会式
3月1日 (水) 卒業式

〈百年史編纂のご協力とお願い〉
学校行事に関わる写真、以前の校舎を写した写真がございましたら、ご一報ください。特に、定時制や家政科、家政科定時制、別科の写真があれば助かります。
ご協力お願い申し上げます。

転退任・新任職員の紹介

退職者・転出者

小暮 雅彦 (英語) 退職
堀井 昇 (公仕長) 退職
石川真由美 (事務長) 新田暁高等学校
志村 知子 (理科) 太田東高等学校
榊原 美穂 (英語) 新田暁高等学校
増田 賢一 (国語) 板倉高等学校
青木 紀仁 (理科) 太田高等学校
帆足 雄祐 (保体/地公臨) 伊勢崎高等学校

転入者・新採用者

田口 薫 (事務長) 太田工業高等学校
岡田 昭 (理科) 太田東高等学校
濱島万里子 (理科) 大泉高等学校
草薨 浩子 (英語) 高崎東高等学校
小暮 雅彦 (英語/再任用) 本校教諭より
久保田純子 (家庭/地公臨) 新規
小暮理恵子 (保体/地公臨) 本校非常勤より
野吾 彩海 (国語/地公臨) 太田東高等学校
石井 顕 (数学/非常勤) 新規
松下 潤子 (国語/非常勤) 新規
栗原 恒夫 (保体/非常勤) 新規
小林 勉 (公仕/地公臨) 新規

編集後記

今年も皆様のお手元に同窓会報をお届けする事ができ、ホッとしています。

来年度、創立百周年を迎えるにあたり、館女の百年の歩みを紐解いています。時代と共に生きてきた館女生の歴史を一つ一つ辿って行くと、時代と共に誇りを持って、勉強に部活に一生懸命生きてきた姿が見えます。新しい館女の歴史へと繋げるために、そんな姿を来年は、創立百周年記念同窓会報特別号に載せ、皆様にお届けしたいと思っています。楽しみにしていてください。

(文責 島田 敦子)

平成28年度入試の合格校等一覧(過年度卒を含む)

【四年制大学】

〔国公立大学〕

学校名等	分類	合格者数
群馬	国大	2
群馬県立女子	公大	3
前橋工科	公大	2
国公立大学計		7

〔私立大学〕

学校名等	分類	合格者数
共愛学園前橋国際	私大	2
桐生	私大	7
群馬医療福祉	私大	7
群馬パース	私大	6
上武	私大	8
高崎健康福祉	私大	5
高崎商科	私大	2
東京福祉	私大	2
仙台	私大	1
足利工業	私大	3
国際医療福祉	私大	2
作新学院	私大	1
獨協医科	私大	1
白鷗	私大	5
流通経済	私大	1
跡見学園女子	私大	1
浦和	私大	1
共栄	私大	6
埼玉医科	私大	1
埼玉学園	私大	5
埼玉工業	私大	1
城西	私大	1
女子栄養	私大	1
駿河台	私大	2
西武文理	私大	2
東京国際	私大	3
東都医療	私大	4
獨協	私大	8
日本医療科学	私大	3
日本保健医療	私大	1
人間総合科学	私大	1
文教	私大	6
文京学院	私大	2
淑徳	私大	1
城西国際	私大	1
聖徳	私大	2
千葉科学	私大	1
帝京平成	私大	5
亜細亜	私大	2
大妻女子	私大	3
嘉悦	私大	1
共立女子	私大	1
杏林	私大	2
駒澤	私大	4

学校名等	分類	合格者数
駒澤女子	私大	1
昭和女子	私大	2
成蹊	私大	3
専修	私大	2
大正	私大	1
大東文化	私大	8
高千穂	私大	1
拓殖	私大	6
東海	私大	1
東京経済	私大	1
東京工科	私大	2
東京工芸	私大	1
東京女子	私大	1
東京富士	私大	2
東京農業	私大	1
桐朋学園	私大	1
東洋	私大	8
日本	私大	5
日本女子	私大	3
武蔵	私大	1
明星	私大	4
目白	私大	6
ヤマザキ学園	私大	1
立正	私大	4
東洋英和女学院	私大	1
帝京科学	私大	1
私立大学計		193
四年制大学計		200

【短期大学】

学校名等	分類	合格者数
山形県立米沢短大	公短大	1
育英短大	私短大	2
関東短大	私短大	3
桐生大短大部	私短大	1
群馬医療福祉大短大部	私短大	1
東京福祉大短大部	私短大	3
足利短大	私短大	1
國學院大栃木短大	私短大	1
佐野短大	私短大	1
川口短大	私短大	1
国際学院埼玉短大	私短大	1
埼玉医科大短大	私短大	1
埼玉純真短大	私短大	4
埼玉東萌短大	私短大	1
大妻女子大短大部	私短大	2
共立女子短大	私短大	2
東京女子体育短大	私短大	1
相模女子大短大部	私短大	1
短期大学計		28

【専修各種学校】

学校名等	分類	合格者数
太田高等看護学院	専門	8
館林高等看護学院	専門	11
東群馬看護専門学校	専門	4
太田医療技術専門学校	専門	8
伊勢崎敬愛看護学院	専門	2
大泉保育福祉専門学校	専門	1
太田動物専門学校	専門	1
群馬調理師専門学校	専門	1
群馬動物専門学校	専門	1
群馬美容専門学校	専門	1
中央医療歯科専門学校	専門	4
東日本製菓技術専門学校	専門	2
東日本デザイン&コンピュータ専門学校	専門	1
前橋文化服装専門学校	専門	1
足利デザインビューティ専門学校	専門	1
獨協医科大学附属看護専門学校	専門	1
大宮ビューティアート専門学校	専門	4
埼玉県栄養専門学校	専門	1
埼玉県立高等看護学院	専門	1
日本医科学大校	専門	1
大原和服専門学校	専門	1
J R 東京総合病院高等看護学園	専門	1
J T B トパ&ネリカレッジ専門学校	専門	1
田中千代ファッションカレッジ	専門	1
中央情報経理専門学校	専門	1
東京こども専門学校	専門	1
東京服飾専門学校	専門	1
日本美容専門学校	専門	1
日本外国語専門学校	専門	2
文化服装学院	専門	1
専修各種学校計		66

【就職】

企業名	分類	就職者数
自衛隊	就職	1
ニプロ医工株式会社	就職	1
カルソニックカンセイ株式会社	就職	1
株式会社ネクストインターナショナル	就職	1
就職計		4

